

## オンラインで学ぶよみかき・ことば

大阪教育大学 岡田耕治

大阪教育大学では、「しきじ・にほんご天王寺」という「読み書きことば」の教室を天王寺キャンパスで開設している。毎週金曜日午後2時から4時まで、ボランティアの方々が20名、学習者の方々が20から25名と、大きな教室を一杯に使って学び合っていた。しかし、2020年の2月以降、コロナ禍に入ってから入構制限がかかり、対面での学習をすることができなくなった。そこで、教室の運営委員のみなさんと相談の上、同年の9月からオンラインによる学びを始めている。

例えば、昨年12月10日の参加者は、学習者6名、ボランティア6名、本学の留学生4名、大学教員1名、合計17名で学びを進めた。学習者の出身は、中国、韓国、スペイン、アフガニスタンなど。20年以上の方から最近来られた方まで、日本在住の期間はさまざまだが、日本語を話せるようになりたい、書けるようになりたいと願っておられる。

当日、みなさんがズームに入って来られたところで、ブレイクアウトルームという機能を使って5つほどの部屋を作り、そこに学習者2人、ボランティアや大学生2人を基本として入ってもらう。学習者とボランティアの組み合わせは毎回私から提案するが、ほぼ前回と同じ組み合わせになることが多い。それぞれのルームに分かれたあとは、70分ほどの学習が始まる。

学習の内容や進め方はルームによってちがうが、学習者が学びたいことに寄り添っていくというスタイルは同じだ。大阪弁をはじめおしゃべりを中心に進めるルーム、各自がそれぞれ話題にしたいことをまとめてきて、その画面を共有しながら学びを進めるルーム、やさしい日本語を学べるテキストを使いながら対話していくルームなどなど。どのルームも、人生をよりゆたかにするための「読み書きことば」の学習を心がけて進められている。学習者・ボランティア・大学生の対等な関係を大切にしていることもこの「しきじ・にほんご天王寺」の特徴だ。

最後に、それぞれのルームでの学習が終わったら、全体で集まって、今日はどのような学びをしたのか、最近あった出来事など、一人一人の自己紹介が始まる。この学習を始める時、私から次のように切り出すことにしている。「みなさん、人生は自己紹介の連続です。今回もみなさんの人生の1ページを聞かせてください」。